女性を担い手としたふるさとの未来創り~地域ブランド構築とビジネス化コーディネート事業~ 【東北ブロック 宮城県亘理郡亘理町 一般社団法人WATALIS】

地域課題

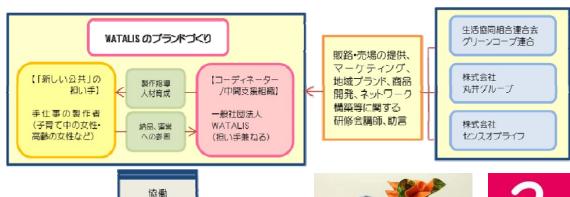
被災の影響による事業所数の減少、復興事業に偏る求人による求人求職のミスマッチ、女性のニーズに対応する就労機会の不足などに対応するため、 みやぎらしい女性の就労モデルの構築、地元の担い手となる人材の育成、地域資源を活用した特産品開発が課題。

事業目的

手仕事の製作者である女性たちの持つ潜在的能力を引き出し、地域の担い手としての意識と能力の向上を図る。担い手自らが、地域ブランドの構築とビジネス化を行うことで、地域の特性を活かした自立的かつ持続可能なソーシャルビジネスモデルを構築し、地域課題である雇用創出や地域経済の活性化を図り、被災地域の復興を推進する。

事業概要

- ・亘理町を拠点として活動する中間支援団体一般社団法人WATALISが、「ふるさとの未来創りワーキンググループ」に体系的かつ継続的に研修の機会を 提供し、地域の女性達が自らの手で特産品開発を通して被災地域の経済の活性化や先に述べた地域課題の解決に取り組むことを支援
- ・地域の産業育成・産業支援に必要な能力・経験・資源を有する協力先(生活協同組合連合会グリーンコープ連合、株式会社丸井グループ、株式会社センスオブライフ)と連携し、関係者をコーディネートしながら、一般社団法人WATALISと担い手が協働して事業を実施



取組1 学びの機会創りワーキング【担い手の人材育成】

取組2. 地域ブランド創りワーキング【特産品開発】

取組3. ネットワーク創りワーキング【販売ネットワークの構築】

計9回の研修会を実施し、専門家からノウハウを学び、指導助言を受けながら、潜在的な地域資源を活用した手仕事による特産品を開発、製作、販売









事業成果

ふるさとの未来創り ワーキンググループ

担い手となる製作者が、9回の研修を通し、取組1~3の支援内容メニューで学んだ事で、商品企画に必要な知識や情報を共有し、未活用地域資源を活用 した手仕事による特産品開発にかかるスキルを向上させることができた。講師を依頼した専門家ともネットワークが構築・強化された。

中間支援における工夫や苦労した点

中間支援において特に工夫した点

- ・担い手(製作者)が自立自走して地域づくりを進めるためには、実体験の積み重ねが大きな一歩であることから、研修への積極的参加を促し「社会とつながる機会」「自ら意見を出し合う自主的運営に向けた話し合いの場」を設けながら、新たな地域ブランド商品である「着物オーダーメイドシステム」を考え出すという、「新たなものを自ら創り出す体験の機会」を提供した。
- ・担い手の個性や強味をいかした地域づくりに向けて、共に寄り添って歩むことを念頭に置き、亘理の女性と亘理町のブランド価値の向上につなげるため、中間支援団体WATALISと製作者が一体となったワーキンググループにより事業を実施するよう努めた。
- ・研修を通して、担い手(製作者)が商品を購入するターゲット層(30~40代・女性・有識者・都市部在住)を明確にし、共有できるよう努めた。製作意欲が向上し、よりよい商品作りを意識することで、主力商品であるFUGUROのブラッシュアップにつながった。

団体の成長につながった点

- ・講師との連絡調整、研修資料作成、参加者確保のための告知など、 研修運営全般に関するスキルが向上した。
- ・中間報告及び成果報告の実施により、体系だった報告資料作成とプレゼン能力などが向上した。
- ・研修を通して、担い手(製作者)の製作意欲、販売能力が飛躍的に向上したことが、WATALISとしての売上額にも良い影響を及ぼした。この取組が優良事例に採択されたことが、対外的な信頼の確保に繋

がり、既存の販売先とも良好な関係を維持しながら、複数の新規販売先を獲得することができた。

中間支援にあたり苦労した点、うまくいかなかった点

- ・支援対象の地元の女性たちは、育児、子育 て、PTA役員、家事、パート、介護などさまざま な事情を抱えながら、限られた時間内で FUGUROの製作も行っているという時間的制約 や個々の意識レベルの差から、参加者が固定 化する傾向が見られた。
- ・中間支援団体として多数の事業を抱えており、 専従者以外もこの取組に注力できるような体 制整備が困難であった。この取組を更によりよ いものにしていくために、団体内の人員体制を 見直す必要がある。

他の主体との連携の効果

- ・中間報告への参加を契機として、当該取組に 採択されている他団体とのネットワークが生ま れた。今後の中間支援団体としての活動の方 向性を考える際の大きなヒントを得ることが出 来た。
- ・講師として参画いただいた企業とのネット ワークが強化され、地域ブランド商品の販促活動に結びついた。

今後の予定

- ・FUGUROオーダーシステムをもうひとつの事業として展開する。この取組の成果物であるオーダーシステムのチラシを配布し、システムを稼働させる。(配布方法:百貨店催事販売での配布、生協などの組織を通じた配布、着物地寄附希望者への送付など)
- ・地元仙台三越の催事などを中心に、製作者に販売を行う機会を提供、製作者を講師としたワークショップを実施するなど、ファンづくりの場を積極的に設定し、地域の担い手である製作者の価値向上に努める。
- ・人をブランド化する目標に近づくため、地元女性達の小さな本気と成功体験を国内外に積極的に発信する。
- ・中間支援団体として、地元女性たちが経済的にも精神的にも充実、安定が図れるように、長期的に寄り添って、フォロー、サポートをしていけるような体制を整備する。

